

壁紙施工要領書

- メタリック壁紙① -

【該当品番】（2013－2017WD）

LY－14746（レンズフィルム）

LY－14749（ホログラムフィルム糸）

LY－14751（ホログラムフィルム）

■特長

- ・非常にフラットな材料であり、下地は拾いやすくなっています。
- ・表面にフィルムを貼っており、たたみジワやキズなどが付きやすい傾向があります。

■下地調整

- ・下地面の不陸を非常に拾いやすいため、下地は出来るだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・ネジ、クギ類の頭には、サビ止めを施してください。（施工後の変色を防ぎます。）
- ・湿式下地（コンクリート打ち放し、モルタル等）の場合、十分に乾燥（水分率11%以下）していることを確認してください。未乾燥状態での施工は、アクによる壁紙の変色やカビの発生を招くことがあります。
- ・ケイカル板、粉ふき下地、ペンキ下地、化粧板、スチールパーテーションなど、接着性の悪い下地は、必ず下地側へシーラーを塗布してください。

■接着剤

- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水＝10：7 にエチレン酢ビ系ボンド10～20%程度を混合してください。
- ・糊付け機械は使用できますが、扱いの際に、つまみジワ等つけないよう注意してください。

■なで付け・ジョイント

- ・なで付けの際は、柔らかい刷毛やプラスチック製のスキージーに濡れたウェス等を巻いて使用してください。エア－抜きは少しやりにくいところがありますが、キズが付かないようていねいに作業を進めてください。
- ・材料自体化粧裁ちしています（LY-14749除く）が、ジョイントは重ね裁ち（ダブルカット）にて納めた方がきれいに納まります。重ね裁ちを行う場合は、下地まで切り込まないようにしてください。目開きの原因となります。（壁紙と下地の間に下敷きを入れる、和紙テープを張り込む、といった注意が重ね裁ちの場合は必要です。）
- ・出入隅がやや決めにくく、シワなどが出ることがあります。納めには充分注意してください。（R面施工も同様です。）特に、LY-14746は出隅の仕上げは困難です。あらかじめご了承ください。
- ・商品表面がフラットで、ジョイントが目立ちやすい傾向にありますので、カッターの刃は薄刃のものを使用してください。

■その他

- ・この商品は、フィルムサイズの関係で有効幅が品番によって異なります。
- ・冬期低温下では、接着剤や材料が固くなり、施工しづらくなりますので、なるべく室内を暖めてから（約15℃以上）施工するようにしてください。